

平成30年度広陵町水道事業会計決算審査意見書

1 審査の概要

(1) 審査対象

平成30年度広陵町水道事業会計決算及び関係書類

(2) 審査実施日

令和元年8月19日（月）

(3) 審査の方法

審査に当たっては、決算書類が地方公営企業法及び関係法令等に基づいて作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかについて確認を行い、併せて関係職員の説明を聴取して行った。

2 審査の結果

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等の規定に基づいて作成され、財政状況及び経営成績等を精査した結果、計数に誤りはなく適正に表示しているものと認められた。

3 決算の概要

経営状況については、収益的収支において営業収益711,853千円、営業外収益74,130千円、特別利益11,262千円で、営業費用739,252千円、営業外費用1,194千円及び特別損失9千円で、収支差引56,790千円の当年度純利益であった。

平成30年度は、昨年度に比べ、年間総配水量は、3,733,341^mから3,633,561^mに減少し、給水人口は、34,948人から34,916人に減少したものの、有収率は、93.19%から95.57%となり、2.38ポイント増加した。

今後も人口減少等による水道水需要の減少など、水道経営を取り巻く環境は厳しいが、震災に対する備えとして、緊急時の給水体制を確立するとともに、平成25年度に策定された更新計画に基づく老朽管の整備等により安定した供給を更に行っていただきたい。

また、消費税率の改正を踏まえ、水道料金に係る消費税を内税から外税へと見直すなど水道料金の改定が今後課題となることから、将来計画を含めた経営状況について積極的に情報提供を行うように努められたい。